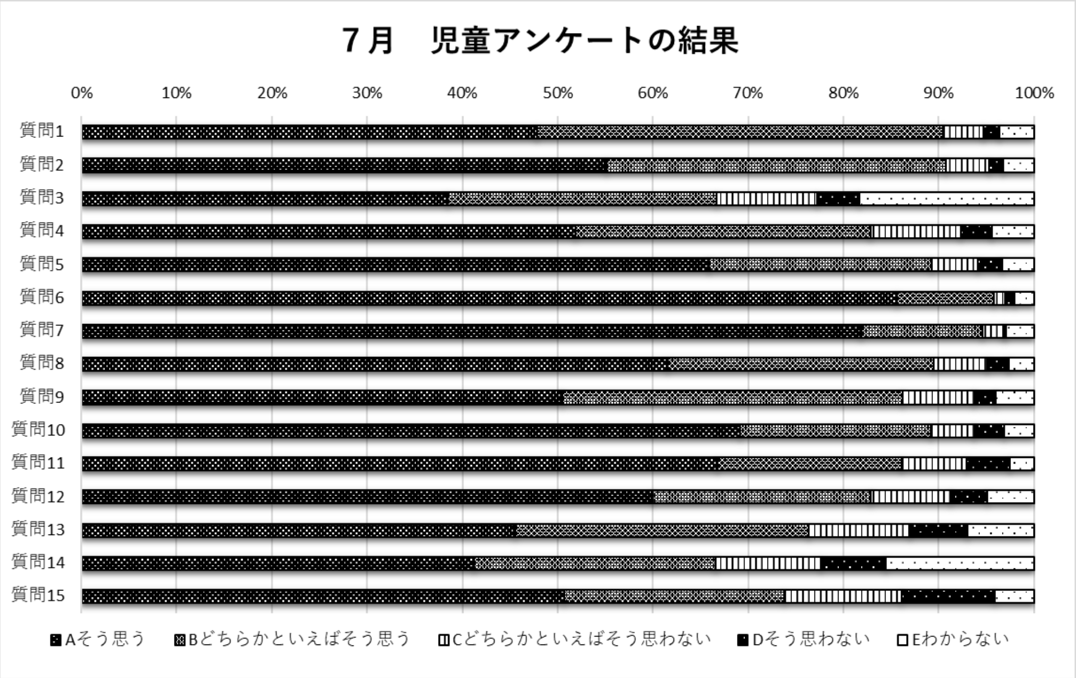
令和５年度　１学期　学校評価　児童アンケート結果

令和５年
西東京市立向台小学校

調査の趣旨

子どもたちがよりよい教育活動を受けることができるように、児童アンケートの結果から学校の教育活動の状況を見直し、改善を図っていく。
また、学校は保護者や地域の方々に教育活動の成果について説明を果たすことを通して、学校の状況を知らせ、保護者や地域の方々との相互の連携協力体制の充実を図っていく。

結果グラフ　対象１年～６年児童　８７７ 名



質問内容と肯定的評価をした児童の割合

	回答内容	R5	R4	差
1	学校の「学習・生活のきまり」を守って生活している	90	87	3
2	授業の内容を理解することができている	91	89	2
3	タブレット等で交流する活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	67	83	▲16
4	学習問題の解決に分かるまで粘り強く取り組もうとしている	83	83	0
5	道徳の学習を通して、よりよく生きていきたいという気持ちになる	89	87	2
6	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている	96	94	2
7	自分や友達の生命を大切にしようと思っている	95	87	8
8	進んであいさつをしている。また、あいさつしようと心がけている	90	89	1
9	廊下をしずかに、ゆっくり歩行している。また、歩行しようと心がけている	86	80	6
10	体育の学習に意欲的に取り組んでいる	89	89	0
11	体育の学習以外に、運動に進んで取り組んだり、外遊びをしたりしている	86	83	3
12	学校生活を楽しいと感じている	83	87	▲4
13	自分に自信をもって生活している	76	77	▲1
14	タブレット等を活用し、家庭学習や宿題に進んで取り組んでいる	67	85	▲18
15	本を進んで読んでいる	74	70	4

成果と課題

［成果］全体的に肯定的な回答が多く、ほとんどの質問で肯定的な意見が８割を超えている。

［課題］▲前年度のアンケートからポイントが減少した項目について

質問　３：「クラスルーム」や「ジャムボード」を利用した友達との交流に慣れてきた。今後は、タブレット端末と対面、それぞれのよさを活かした交流を実践していく。
質問 12：学校生活を楽しいと感じられるよう、温かい雰囲気となる学級経営を行う。
質問 13：子どもたちを肯定的に受け止め、正しい行動や親切・思いやりのある態度を称賛するなど、自己肯定感が高まるよう指導する。
質問 14：週末等の宿題や長期休業中の宿題で活用するとともに、授業中の既習事項確認の場面等で積極的に活用していく。

児童アンケートの結果を踏まえ、
今後の学級経営や授業改善に努めてまいります。